

平成 29 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働特別研究事業）
「無痛分娩の実態把握及び安全管理体制の構築についての研究」

「無痛分娩の啓発のためのリーフレット作成に関する検討」
研究代表者 海野信也（北里大学病院長）

研究要旨

- 妊産婦及びその家族を含む一般の方を対象とし、無痛分娩のメリットとリスクに関する啓発を目的としたリーフレットを作成した。

「無痛分娩の実態把握及び安全管理体制の構築についての研究」研究班構成員

（○：公開検討会構成員 □：作業部会構成員）

【事務局】

研究代表者： 海野信也 北里大学病院・院長・産婦人科学
研究分担者： 石渡 勇 石渡産婦人科病院・院長・産婦人科学
研究分担者： 板倉敦夫 順天堂大学医学部・教授・産婦人科学

【研究協力者】

- 阿真京子 知ろう小児医療守ろう子ども達の会・代表理事：患者（妊産婦）の立場
- 飯田宏樹 岐阜大学医学部・教授・麻酔科学：日本麻酔科学会より推薦
- 石川紀子 静岡県立大学看護学部・准教授・助産学：日本看護協会より推薦
- 後 信 九州大学病院・教授・医療安全管理部長・医療安全学 医療安全の立場
- 前田津紀夫 前田産科婦人科医院・院長・産婦人科学：日本産婦人科医会より推薦
- 温泉川梅代 日本医師会・常任理事：日本医師会より推薦
- 天野 完 吉田クリニック・産婦人科学：日本産科麻酔学会より推薦
- 池田智明 三重大学医学部・教授・産婦人科学：日本産科婦人科学会より推薦
- 奥富俊之 北里大学医学部・診療教授・麻酔科学：日本産科麻酔学会より推薦
- 角倉弘行 順天堂大学医学部・教授・麻酔科学：日本麻酔科学会より推薦
- 照井克生 埼玉医科大学・教授・麻酔科学：日本周産期・新生児医学会より推薦
- 永松 健 東京大学医学部・准教授・産婦人科学：日本産科婦人科学会より推薦
- 橋井康二 ハシイ産婦人科・院長・産婦人科学：日本産科婦人科医会より推薦

- A. **研究目的**：妊産婦及びその家族を含む一般の方を対象とし、無痛分娩のメリットとリスクに関する啓発を目的としたリーフレットを作成し、その活用方法を検討すること。
- B. **研究方法**：研究班の事務局において本件に係る課題を整理し、これを作業部会及び公開検討会において検討した。
- C. **研究成果**：
- 1) リーフレットの内容：検討の結果、無痛分娩を検討している妊婦及びその家族を対象に想定し、無痛分娩のメリット、無痛分娩のリスク、無痛分娩の方法を分かりやすく示した後、本研究班の研究成果としての、わが国の無痛分娩の実情の紹介を行い、安全な無痛分娩のために必要な対応について述べるのが妥当と考えられ、提言の内容に即したリーフレットの内容を決定し、読みやすい形式でリーフレットの作成を行った（別紙1）。
 - 2) 活用方法：本リーフレットは、研究班の報告書に掲載するだけでなく、今後組織される新たな組織及び関係学会・団体等のホームページ等を用いた情報公開、啓発活動の際に活用することが考えられた。
- D. **考察**：本研究班は、社会的に注目を集めた無痛分娩の安全性に対する懸念に対して、専門学会・団体として、状況の改善の方策を検討するために組織された。本リーフレットは、研究班の成果を分かりやすい形で提供し、一般の方が無痛分娩に対してバランスの取れた対応がとれるようになることをめざして編集を進めた。今後、適切な形で活用されることによって、わが国で安全な無痛分娩が実施されることに寄与することが期待される。
- E. **結論**：妊産婦及びその家族を含む一般の方を対象とし、無痛分娩のメリットとリスクに関する啓発を目的としたリーフレットを作成した。
- F. **健康危険情報**：特になし。
- G. **研究発表**：特になし。
- H. **知的財産権の出願・登録状況**：特になし。

